

自然環境・生態系の保全・復元のための (地域性系統)
北海道自生植物の緑化用資材

北海道内の自生地で採種・増殖した種子や育成した苗を用いた緑化資材です。
 地域の生態系は、長い期間をかけて微妙なバランスのもとで成立しています。
 地域生態系の保全のため、自生種、さらには地域性系統の使用が求められています。

道内産自生種で緑化しましょう!

種子入り植生シート(植生人工芝)



- 自生種種子入りワラシート 1.0m × 20m
- 自生種種子入り麻シート 1.0m × 50m
- 自生種種子入りヤシネット 1.0m × 25m
- 自生種種子入り厚層客土袋植生マット

種子入り植生土のう



- 自生種種子入り土のう袋 400mm × 600mm
- 自生種種子入り完成土のう 300mm × 500mm × 100mm



ワラシート 1.0m × 20m



麻シート 1.0m × 50m



土のう袋 40cm × 60cm



完成土のう 30cm × 50cm × 10cm



ヤシネット 1.0m × 25m



厚層客土袋植生マット

【主な草本類種子】		【主な木本類種子】	
オトコヨモギ	キク科	シラカンバ	カバノキ科
エゾヨモギ	キク科	ケヤマハンノキ	カバノキ科
コウゾリナ	キク科	ミヤマハンノキ	カバノキ科
エゾヌカボ	イネ科	エゾヤマハギ	マメ科
ネズミガヤ	イネ科	アキグミ	グミ科
カワミドリ	シソ科	タニウツギ	スイカズラ科

緑化植物を選定する際には、緑化によって本来生育していない植物や系統を持ち込んで、生態系を攪乱したり、遺伝的な多様性を攪乱したりする危険性について配慮する必要があります。近年は移入種問題の論議も活発化しており、特に山間部などの自然生態系を保全すべきエリアでの道路法面や河川堤防の緑化・砂防工事や治山対策などでは、外来種を使わずに、**自生種**^{注1)} 特に**地域性系統**^{注2)} を使用することが、求められています。

注1) 自生種: 自然分布している範囲内に分布する種、亜種またはそれ以下の分類群

注2) 地域性系統: 自生種のうち、ある地域の遺伝子プールを共有する系統。遺伝型とともに、形態や生理的特性などの表現型や生態的地位にも類似性・同一性が認められる集団



2006年5月



2008年7月

富良野川砂防ダム植生試験
現地採種ヤマハンノキ播種



石狩川石狩大橋上流河岸保護工事
切土法面ワラ芝(自生野草+芝草)



2008年8月



2007年5月



支笏国道453号



糠平国道273号



鳥崎川(森町)



雪印種苗株式会社

<http://www.snowseed.co.jp/>

環境緑化部 緑化事業課

〒004-8531 札幌市厚別区上野幌1条5丁目
TEL 011-891-5691 / FAX 011-891-5699

北海道研究農場

〒069-1464 夕張郡長沼町字幌内1066番地
TEL 0123-84-2121 / FAX 0123-82-6101

建設コンサルタント業登録 建21第9360号 / 特定建設業許可(特-17)第10368号(造園、とび・土工、土木工事業)